

福知山市商工会 企業業況調査

平成30年10月調査結果(9月実績 調査対象 75件) (平成30年11月5日公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	75	38.6	35.9	42.3	39.8	36.6	35.5	
地域別	三和	17	36.8	39.5	36.8	40.8	30.9	38.2
	夜久野	30	26.7	25.9	36.5	31.0	33.7	28.4
	大江	28	48.2	43.8	50.9	48.2	42.9	41.1
業種別	製造業	20	44.7	50.0	47.4	50.0	40.8	46.1
	建設業	18	50.0	38.2	53.1	42.1	50.0	34.2
	卸小売業	15	30.4	32.7	39.3	32.7	26.8	30.8
	サービス業	22	29.5	25.0	41.2	34.0	29.5	31.0

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

※旧福知山市の事業所があるため、地域別と業種別の調査数は異なる。

景況感DIは38.6と前回調査よりも2.7ポイントの回復となった。地域別では、三和が-2.7ポイントとは対照的に、夜久野と大江がそれぞれ0.8ポイント、4.4ポイントのプラスとなっている。業種別では、建設業が11.8ポイントのプラスと回復が著しく、また、サービス業も4.5ポイントの回復傾向がみられる。しかし、卸小売業では、2.3ポイントのマイナスと厳しい状況が続いている。

先行調査では、先行3ヶ月が42.3、先行1年が36.6であり、前回との対比ではそれぞれ2.5ポイント、1.1ポイントのプラスとなった。

地域別では大江地域での回復 業種別では建設業の回復が目立ち、どちらも、先行調査において、期待感が表れて

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-11.4	-31.6	5.7	-23.7
売上			-28.6	-26.3	0.0	-39.5
採算	2.9	-2.6	-11.4	-31.6	0.0	-39.5
資金繰り	-5.7	-15.8				
業況	-20.0	-26.3				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-61.1	-27.0	-41.7	-33.3
客数			-66.7	-38.9	-52.8	-31.4
客単価			-38.9	-16.7	-36.1	-17.1
採算	-25.0	-26.3				
資金繰り	-41.7	-39.5				
業況	-50.0	-44.7				

★今期の経営動向

採算においては、製造業・建設業が5.5と前回調査よりもプラスとなっている。一方、卸小売業・サービス業は、-1.3とわずかながらマイナスになっている。

資金繰りや業況については、製造業・建設業で大幅な改善傾向が見られるものの、卸小売業・サービス業では悪化するなど、引き続き厳しい状況が続いている。

★前年同期比、前期比

業種間における明暗が鮮明に出てきている。前年同期比、前期比ともに、製造業・建設業においては大幅な改善傾向にある一方、卸小売業・サービス業においては、すべての調査項目で、大幅なマイナス傾向にあり厳しい数値となっている。

ただし、個々の回答においては、卸小売業・サービス業の35~50%の事業者が不変と回答しており、製造業・建設業では10~25%の事業者が増加(転)と回答している。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(43)	建設業(42)	卸小売業(37)	サービス業(56)
1位	人件費の増加(3) 18.6%	従業員の確保難(2) 26.2%	競争の激化(1) 27.0%	設備の不足、老朽化(1) 16.1%
2位	設備の不足、老朽化(2) 14.0%	競争の激化(1) 16.7%	消費者ニーズの変化への対応(3) 16.2%	需要の停滞(2) 14.3%
3位	従業員の確保難(1) 14.0%	仕入・人件費以外の経費の増加(5) 11.9%	仕入価格の上昇(4) 16.2%	仕入価格の上昇(3) 12.5%
4位	仕入価格の上昇(5) 11.6%	仕入価格の上昇(3) 9.5%	需要の停滞(2) 10.8%	競争の激化(4) 10.7%
5位	需要の停滞(4) 11.6%	需要の停滞(4) 9.5%	仕入・人件費以外の経費の増加(9) 8.1%	仕入・人件費以外の経費の増加(6) 10.7%

全体的な傾向としては、前回調査でも上位にあげられた事項が今回も上位を占めている。製造業では、従業員の「従業員の確保難」より「人件費の増加」がトップに上がり、建設業では、回復傾向反映しての「従業員の確保難」をあげる事業者が増えてきている。

一方、卸小売業やサービス業では、「競争の激化」「需要の停滞」に加え「仕入価格の上昇」をあげる事業者が増えてきており、厳しい経営状況が顕著になっている。なお、「従業員の確保難」については、福知山ハローワークの有効求人倍率も高止まりしていることから、今後問題として上位にあげられる可能性が高いと考えられる。

■向こう1年間の設備投資の計画

あり (15事業者 28案件)					なし
上段:投資金額		下段:投資対象			
1000万以上	~1000万	~500万	~100万	73事業者	
5	1	6	3		
土地	建物	機械重機	什器備品		車両
2	8	10	5		3

実施事業者数/事業者数

業種別		地域別	
製造業	6/20	三和	3/17
建設業	4/18	夜久野	7/30
卸小売業	1/15	大江	5/28
サービス業	4/22		
合計	14/75	合計	15/75

全体の20%である15事業者が、向こう1年間に28案件の設備投資を計画しており、内、5事業者で総額1000万円を超える計画を有している。設備投資の対象としては、製造業や建設業での計画が多いこともあり、機械重機の割合が若干多くなっている。業種別では卸小売業の計画が少なく、製造業では、経営上の問題点として上位にある「設備の不足・老朽化」対策への投資と考えられる。

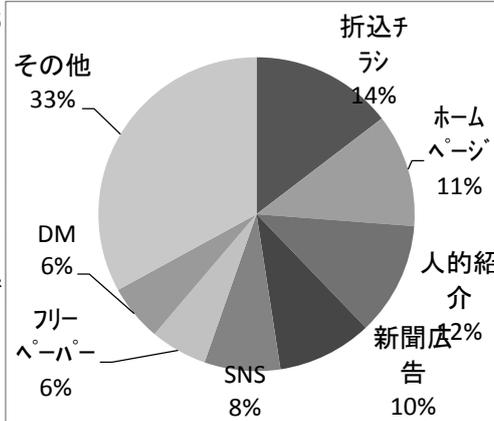
地域別については、夜久野の事業者の投資意欲が高い。

■過去1年間に実施した販路開拓ツール

(15個の選択肢から複数個選択回答 項目の後の数字は選択された数)

過去1年間に実施した販路開拓ツールとしては、75事業者の内、37事業者(49%)から、103点の販路開拓ツールを利用した旨の回答をであであり、実施した販路開拓ツール数が平均2.8点であった。前回調査(平成30年3月)の45%から4ポイントアップしており、半数の事業者が何らかの手段により販路開拓に努め、1事業で複数を実施しているところもある。

業種別では、サービス業で実施する事業者が多く、製造業で少ない。地域別では三和町地域が少ない。折込チラシ(単独)は、卸小売業及びサービス業で多くなり、ホームページやSNS活用はすべての業種で実施されている。とりわけ、サービス業において実施しているとの回答が多い。



実施事業者数/事業者数

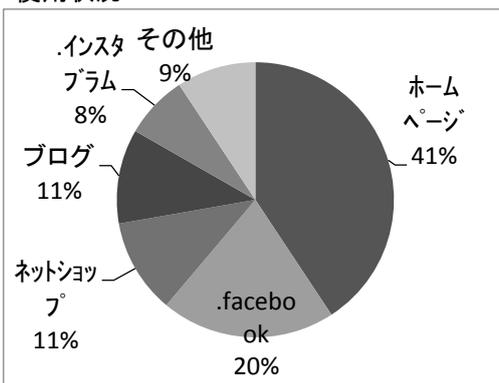
業種別	数
製造業	4/20
建設業	11/18
卸小売業	7/15
サービス業	15/22
合計	37/75

地域別	数
三和	6/17
夜久野	17/30
大江	14/28
合計	37/75

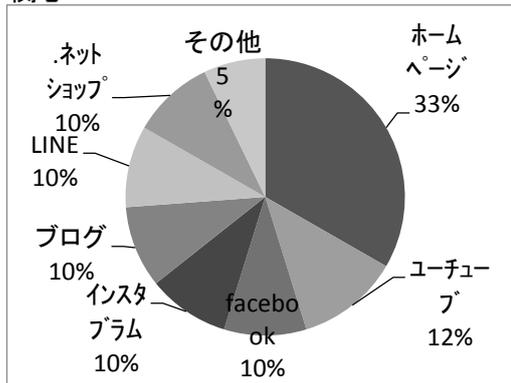
■インターネットツールの使用状況と関心

(複数個選択回答 項目の後の数字は選択された数)

使用状況



関心



(実施事業者数/事業者数)

業種別	使用	関心
製造業	6/20	4/20
建設業	5/18	7/18
卸小売業	4/15	5/15
サービス業	11/22	8/22
合計	26/75	24/75

地域別	使用	関心
三和	5/17	6/17
夜久野	11/30	8/30
大江	10/28	10/28
合計	26/75	24/75

26事業者から、96点のインターネットツールの使用状況の回答を得た。概ね半数の事業者が平均2つのツールを使用しているとの結果となっている。使用が多いツールとしてはホームページが4割を超えており、次いでFacebook、ネットショップ、ブログと続いている。業種別、地域別には際だった特徴は見られない。

ツールへの関心があると回答した事業者は、現在使用している事業者と重なっている。このことから、現時点でインターネットツールを使用していない事業者の多くでは、今後も使用しない可能性が高いと推定される。関心があるツールとしては、ホームページ、動画活用のためのユーチューブの選択が多いのが特徴である。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は平成30年10月~12月の状況について、平成31年1月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。